

うれしいことがあった。教会でバザーが開かれた日、時々教会に遊びに来ている近所の子どもが初めてミサに参加した。最前列の席に着いた二人はにこにこしている。その様子を見て私もほほ笑んだ▼教会には犬が二匹いる。その犬を訪ねていろいろな人が教会に近づく。一番多いのは子どもたち。特に休みの日には、入れ替わり立ち替わりやって来て「散歩させて」とせがむ。子どもが散歩させているので

はなく、犬が散歩させているように見える。ミサに参加したのはそんな子どもだった▼「教会でお祈りしよう」と、迎えに

ために来た子どもたちも、時々、聖堂に入っても、時々、祈っている。とりわけマリア様が好き

なようで、祈るときはいつもマリア像の前で手を合わせている。「イエス様は恐い。殺されてるから。マリア様は好き。優しいから」と話してくれた。教会の庭にバスケットボールのゴールポストを置いた。小学生から大學生まで人気がある▼主日のミサが終わってしばらくすると、教会は静まり返る。しかし、夕方にも



来た母親を園児が誘っている。母親は先を急いでいる様子だったが、子どもに手を引かれて聖堂に入ってしまった。犬と遊ぶ

なると、子どもたちの声で再びにぎやかになる。近所の子どもたちが集まってくる。幼稚園の遊具で遊んだり、犬を散歩させたり、バスケットをしたり、親子で遊んだり：▼教会が町のオアシスになっている。いろいろな人が、それぞれにいろいろなことを求めて集まる。オアシスのわき出る所、それはみことばとご聖体の祭壇。その祭壇の近くまで来た二人の子どもは、「おいしい水」を飲んだに違いない。(Y)